スペシャル聖研

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　担当：岡田健太朗

テーマ「自分の頭で考える」

◎「自分の頭で考える」とは？

○図１から何がわかりますか？（プロ野球界の将来は明るい？暗い？それはなんで？）



S：プロ野球は嫌いなんで、くらいです。　比率だけ見てもわかんないっす。

あんまり人数が変わっていない想定で・・・

S：若年層は減っている。から人気ないのかな。。。野球見ないのでわかんなっす。

T：若年層だけ減っている感じ。娯楽の少なかった昔に比べて、娯楽の増えた現代は別のものに行ったんじゃないですか・・・　年をとった人はお金使えるし。。。

タ：昔に比べて共通の話題が増えたってことが関係してるんじゃないの？明るいか暗いかって言われたら高齢化だし、お金がある高齢者がいて、固定客がいるだろうから無くなりはしないんじゃないの？

ハ：多分サッカーも並べても増えてないだろう。TVのゴリ押しが効かなくなったんじゃないのかな。

○知識に騙されてませんか？



○自分の頭で考えるってこういうこと



◎聖研を振り返って

○自分の聖研に対するスタンス（どういう活動だと思っていたか）

・当初：中高（イエズス会系ミッションスクール）の授業みたいに聖書の知識に関する質問で正解する。

　　　　　　　　　　　　　　　↓

・現在：聖書に書いてあるテキストそのものではなく、現代でも通じる意味、示唆を理解する。

→自分の頭で考える

け：（セイケンを）来年もやれるので
マ：いえーい

け：セイケンの考え方について教えて

S：＠の例みたい。知識に頼ってしまう。俺は知識が無いので、考えていると思います。

け：最低限の知識は必要だよね・・・知識のあるTは？

T：個人的に議論したいのはたまに解釈とかで普通の感覚だと解釈できない比喩とか、その解釈の過程だとかについて、色々な人の意見が聞きたくて。どっちかっていうと知識詰め込むだけじゃない・・・何言っているのかわからないけれども・・
一つ思うのは頭使って考えて議論することが目的だと題材が聖書じゃなくてもよくなってしまうので、「社会における宗教」だとか普段触れないようなものでかつ宗教に関係しているものだといいのかな。

ハ：僕はみんなが楽しく出来るようにわざわざ突っかかっていったり・・・セイケンは飲み会みたいなものにしたいと思っていた。楽しみながらなにかしら何か得られるもの、を目指していた。

五；一年生の時の食堂班でやっていたのは、自分で考えていたというよりは知識だったと思う。でもそれがあったからこそ、先輩達の話についていける。
去年の宮城さんのスペシャルセイケンとかでも思ったんですけど、先輩達でも独特の切り口があって、自分達はまだ「味」が出せてないような・・・なので

**五の来年の目標は「味を出すこと」**
マ：最初思ったのはセイケンという時間は聖書の中を探るって感じがした。今年に感じたのは聖書っていうフィルターをかけて考えるっていうのは今年の感想。まだ自分はテンプレ通りの当たり障りのない解答しか出来ていない。なので
**マの来年の目標は「面白い先輩になること」**

知識と情報の違いは？

「結論先取りのファラシー」
結論が先にあって、その状態で情報がいってしまう。情報を選択している。実は先に結論が決まっている。先に結論を持つなってこと、情報を批判出来る能力を持てってこと。

啓発本を読むのは自分の価値観を確認している作業。

聖書を読むっていうことは自分の価値観と全く違うものを見るという意味。聖書は人間の価値観でやっていない、自分の価値観と異なった世界で揺さぶられることがいいことなのでは。

「松井が行ってしまう」という表現に関して言えば、「日本の野球が嫌い」とかっていう価値観から判断された情報。「松井が行くほど日本の野球が発展している」っていう意味でも見れるのだから。これが憶見。

○聖研を通じた目標

当初：聖書の知識が教養として身につけばいいか…。

　　　　　　　↓

現在：自分の人生、価値観について頭を使って考える。

○どういう人生にしたいですか？